

令和6年度第4回教育委員会定例会 会議録

1. 開催日時 令和6年7月17日（水）10:00
2. 場 所 中央公民館1階 会議室
3. 出席した委員 橋本博子教育長、橋本篤哉職務代理委員、齋藤夢子委員
4. 欠席した委員 築田信義委員、橋本聖一委員
5. 会議録署名委員の決定 橋本篤哉委員 齋藤夢子委員
6. 会期の決定 本日1日
7. 会議録の確認（令和6年度 第3回） 全員異議なし。

8. 議 事

議案第52号令和6年度六ヶ所村要保護及び準要保護児童生徒援助費支給認定について案件とし、学務課総務・教育行政グループ高田主事が説明を行った。六ヶ所村要保護及び準要保護児童生徒援助費支給交付要綱第2条第2項の要件に該当する受給対象者として委員会の承認を求めるもの。申請者は児童扶養手当の支給要件に該当するもので別紙の児童、生徒であることを説明した。特に質疑がなく原案のとおり決定した。

9. その他

その他では、令和6年度教育に関する事務の点検及び評価（令和5年度分）について各課から説明を行った。内容については、第4次六ヶ所村総合振興計画及び第4次生涯学習中期推進計画に基づき抽出し75事業となった。そのうち新規事業は6事業、新型コロナウイルス感染症により実施できなかった事業は5事業、次に評価の結果、全事業がA評価となり、B評価及びC評価は無かった。今回委員の皆様には評価をしていただき教育委員会全体の評価をとり報告書にまとめていきたいと考えている。

初めに学務課から、新規事業の公用車購入事業について、尾駁小、第一中

学校で使用しているスクールバスですが劣化等著しいことから、新たにマイクロバスを購入し、児童生徒の登下校のほか校外学習でも運行していることからA評価としている。次に南小学校開校10周年記念事業補助金ですが、南小学校は令和5年度に開校から10年目を迎えました。児童が主体となり、周年記念事業を実施し南小学校のこれまでを振り返り今後のビジョンを地域全体で共有することができたため評価をAとしている。次に電子黒板購入事業は、令和5年度から2か年で整備するもので、令和5年度は特別支援教室及び特別教室へ導入を図ったものです。学校訪問では今授業に欠かせない設備の一つであることがご確認いただけたと考えており、計画した台数が予定通り導入され、積極的に活用されていることから評価をAとしている。次に泊中学校、千歳平中学校教職員住宅建築工事について、令和4年度に実施設計、令和5年度に建築工事を実施しております。それぞれ2棟ずつ建築しております今年度の春から校長・教頭が入居している。教職員の定住できる良好な環境を整備することができたため評価をAとしている。最後に継続事業ですが、教職員は心身にゆとりをもって指導に当たり児童生徒は、安心して学校に通う教育環境を提供でき、教員の資質と学力向上の一助となったと評価している。また、各種保護者の支援なども計画通り実施できたのでA評価としている。次に給食センターから、事業は昨年同様3事業であり主なものは学校給食センター管理業務について村内児童生徒の栄養バランスのとれた安全・安心な給食の提供及び家庭における食生活改善に資するための献立表の配布や栄養教諭による学校訪問を実施し評価はAとしていることを説明した。次に社会教育課から木村課長補佐から説明があり、スポーツ大会開催事業について競技スポーツや家族で気軽に参加する軽スポーツ大会を開催することができた。エネルギーパークマラソンについては目標集客に届かなかったものの安全に大会を実施することができたため、A評価とした。中止した事業について説明を行いNo.40番家庭教育学級開催事業、41番の小中学校家庭学級開催事業ですが、村内こども園及び小中学校共に行事が多く、主体となっていくことが難しいということで中止とした。これらの代替事業として社会教育課主体で講座を開催した。寿教室開催授業ですが新型コロナウイルス感染症が流行してから高齢の方々を対象とした事業を開催することが難しく他の中央公民館で開催している事業に参加していただいている方も多いため、年齢にこだわらず、現在実施している事業で対応していきたいと考えている。また、ジュニアリーダー研修会開催事業ですが、こちらも評価はしていませんが、内容を精査して来年度以降事業を実施したいと考えていることを説明した。

次に泊ふれあいセンター事業について佐々木館長から説明があり、例年通り事業を実施することができたためすべてA評価としたことを説明した。

次に千歳平公民館事業について木村館長から説明があり、公民館講座開講事業では、継続の講座に加え新たに1講座を加えて実施した。健康づくり講座については、ヨガ教室を開催し、住民の方々からは非常に好評であったため評価についてAとした。

質疑では、橋本篤哉職務代理から、教員住宅の新築工事について、他の小中学校の教員住宅は大丈夫なのかとの質問、給食センターへは学校訪問時に給食の量が少ないという話を聞いたことから状況はどうか、教員住宅建設事業については、佐々木課長補佐から令和5年度に新築した以外の教員住宅については、各年度修繕や大規模改修を実施しながら対応していることを回答した。豊作所長から給食の量について、泊小中からもそのような意見をいただいていたため、翌日から量を増やす等対応している。子どもの肥満等に繋がらないよう検討していきたいと考えていることを回答した。

齋藤夢子委員からは、電子黒板購入事業について1台あたりの値段についてと小中学校検定補助について大人も勉強している方が多いと考えられるため、そちらにも補助をすることができないのかどうか、成人式について、私も参加させていただいたが、人数が少ない気がしている。案内についてどのように行っているのか、質問があった。電子黒板購入事業については、佐々木課長補佐から、65型は約650,000円、75型は約750,000円となっており、普通教室には65型を令和6年度に75型は理科室等の特別教室へ設置していることを回答した。小中学校検定補助については、市川課長から保護者の検定等については、総務課で実施している人材育成基金で各種資格取得について助成を行っている旨を回答した。木村課長補佐からは、公民館講座において資格取得ではないが、各種講座を行っている旨回答した。成人式の案内については、村内20歳の方へ自宅か転出先へ送付している。対象人数についても年々減少傾向となっていることから、参加者についても少なくなっていると回答し、事務の点検評価についての質疑は終了した。

次に、指導グループから業務日程等について説明をおこなった、ICT研究会や特別支援教育研修会をする旨を説明、また各学校の様子について説明を行い特に質疑等なかったため、終了した。

10. 傍聴者 なし

11. 出席した職員

学務課：市川課長、佐々木課長補佐、高山総務・教育行政 GM、原田指導 GM、高田主事、給食センター：豊作所長、社会教育課：木村課長補佐、齊下主事、泊ふれあいセンター：佐々木館長、千歳平公民館：木村館長の計 10 名

以上